

おはようございます。

今日はこの後、生徒会長のあいさつやクラス委員の任命式がありますので、それに関連する話をしたいと思います。

今年の入学式は、富澤学園としてやまぎん県民ホールを借りて、午前中に高校、午後に大学・短大ということで開催しました。新生以外で入学式に参加したのは、生徒会長と吹奏楽部員だけでしたので、その話から始めます。まず、吹奏楽部の皆さんには、オープニングの演奏と校歌を披露してもらいました。ありがとうございました。

また、新生代表の武田莉生君のあいさつで、「これまでに多かった『やったらできた』という受け身な自分から脱却したい。高校生活では、できない自分を知ったとき、そこで停滞せず、前進していける強さを手に入れたい。」という言葉がたいへん印象に残りました。確かに、中学までは知らず知らずのうちに出来るようになったということの積み重ねが多いのに対し、高校では新しいことにチャレンジしながら、失敗しても停滞せずに果敢に立ち向かう勇気が必要なのだと改めて思いました。

そして、生徒会長の菊池拓也君は、「ハーバード大学で75年にわたって『人は何が幸せか』という研究を行ったところ、それは金・富・健康ではなく、同じ志をもつコミュニティにおいて、頼り、頼られ生きることだった。このことから新生の皆さんには、建学の精神を心にとめ、城北高校というコミュニティで様々な人と出会い、掲げた志に向かって助け合い、高め合いながら日々努力してほしい。」という言葉述べました。本当に立派な歓迎の言葉だったと思います。

小中学校では、上の学年が下の学年よりも立派であるというのは普通ですが、高校になると実はそうでもなくなってきます。上の学年になればなるほど勉強しなくなるとか、欠席が多くなるとか、校則を守らなくなるとか、個々の生徒に限るとよくあることです。上級生が下級生よりもいろんな面で優れているということは、本来求める姿であり、学校の品格ともつながるものです。その点でも、入学式での生徒会長の言葉は素晴らしいものでした。

ここから話の後半になりますが、生徒会よりも大きな組織である市町村議会や県議会についてです。選挙前に話をすると投票行動に影響を与えてしまうかもしれないと考え、これまで触れませんでした。

昨年、2・3年生には話をしたかと思いますが、日本では誕生日の前日に一つ歳を取りますので、4月2日生まれの人から今日が誕生日だった3年生が昨日までに18歳となり、昨日行われた市町村議会の選挙権があったということになります。とはいうものの、立候補者数が議員定数に満たない場合は全員が当選となり選挙は行われませんので、投票しなかったのにできなかったという人もいません。

私は山形市民で、今回は定数33に対し39名が立候補しまして、その中に教え子が2人いたので、心配な方に1票を投じました。誰に投票するか、誰に投票したかを表明することは別に違法でもなんでもないので、日本では、政治と宗教と好きな野球の球団は話さない方が良いといった風潮が広がっていて、それは、日本人は意見の違いが明白になることを恐れるからだと思われます。逆に言えば、日本の投票率が低いのは、普段政治の話をしなないことが大きな原因なのかもしれません。

ただ、実際投票するとなると誰に投票するか迷うことがしばしばあります。そんな時は、単純に自分の利益につながる政党や人を選ぶというのではないかと考えます。例えば、皆さんは私立学校の生徒ですから、県知事選挙や県議会選挙では、私学助成に理解を示しているかどうかで判断するというのもありかと思いますが、ちなみに、本県で私学に通う生徒一人当たりの県補助金は、令和4年度に372,444円だったものが、今年度は357,816円と約14,000円減額されています。

一方、公立高校では、正確な数字は分かりませんが、私学よりも2倍、3倍の税金が使われています。つまり、皆さんは公立よりも1/2、1/3の補助しかもらっていないことになります。かといって、皆さんの保護者の方の税金が安くなることはありません。皆さんが社会に出た時に、税金を使わなかったからといって、減税になることはありません。

これを不公平だと感じるならば、選挙に行き投票することです。議員は、法律や条例、予算など重要な事柄を決めるのが仕事ですが、自分を支持してくれる人や団体のために有利な行動をとります。ならば、投票する側は自分にとって有利な行動をとってくれる人に投票するのが良いわけです。

少子高齢化が進み、高齢者の割合は年々高まっています。そうすると、どうしても政治家は高齢者を優遇し、反発を招きそうな課題は避けるようになります。若い世代の投票率が低ければ、その傾向はもっと強くなりますから、若い皆さんは投票所に行き、自分にとって有利な政策を訴えている人に一票を投じることが大事なのです。

最後になりますが、1,098名という県内一の生徒会がスタートしましたが、挨拶と笑顔が溢れる学校にしましょう。特に、最上級生である3年生に期待します。